

# 津波ハザードマップ

保存版

## 津波到達時間

津波ハザードマップは「津波到達時間」と「津波浸水想定」の2種類があります

このマップはいつでも確認できる場所に置くなどして、大切に保管してください。 令和6年12月作成

### 津波ハザードマップについて

この津波ハザードマップは、平成29年度に新潟県が公表した津波浸水想定に基づき、新潟市が平成30年に作成した「新潟市総合ハザードマップ」をもとに作成したものです。発生頻度は極めて少ないものの、発生すれば甚大な被害をもたらす最大クラスの津波被害想定を示しています(新潟市で想定される沿岸部の最大の津波水位は11.8m)。日頃からハザードマップをよく確認し、一人ひとりができる避難行動を決めておきましょう。本紙面に記載のない事項は新潟市総合ハザードマップでご確認ください。なお、新潟市総合ハザードマップに記載された浸水想定区域から変動はありません。津波は、発生する地震の規模や位置によっては、想定と異なる浸水深や浸水想定区域でない区域でも浸水する可能性があります。

### 地震発生時の津波避難行動

津波到達時間のマップでお住まいの地域を確認しましょう

#### 緊急避難地域 海岸・河川地域

##### 発災後30分未満に浸水

津波警報を待たずに、ただちに高台や津波避難ビルなど安全な避難場所へ避難しましょう。

#### 早期避難地域 河川遡上地域

##### 発災後30分～120分未満で浸水

できるだけ河川から離れ、ただちに高台や安全な避難場所へ避難しましょう。

#### 長期浸水地域 低平地浸水地域

##### 発災後120分～約7日後で浸水

河川からあふれた津波がゆっくり時間をかけて浸水します。情報を確認し、落ち着いて避難しましょう。

#### 避難者受入れ地域

##### 津波の浸水想定はありません

津波による浸水想定はなく、慌てて避難する必要はありません。地震で家が破損や倒壊などで生活できない場合は避難しましょう。

#### せり上がり地帯について

津波が建物等に衝突することで想定水位(浸水深)より高く、より威力をもつ津波が押し寄せる場合があります。より速やかな避難行動が必要です。

ハザードマップのチェックポイント ① 住んでいる地域に、津波浸水の可能性はあるか ② どれくらいの深さ、どのくらいの時間で浸水するか ③ 近くの避難できる場所はどこか

### 津波避難ガイド

今すぐ始めるわが家の避難準備

地震発生 約3分 津波注意報等の発令 避難開始 津波の危険性がなくなったら

私の家は 津波の浸水想定区域内に **ある**

自宅の浸水想定は 浸水開始時間(分) ( ) 最大浸水深さ ( ) m

避難する場所を決めよう 避難場所は ( ) 避難場所まで(約) ( ) m 【5分で歩ける距離】(徒歩約) 標準的な歩行速度:約300m 高齢者・子ども:約150m

私の家は 津波の浸水想定区域内に **ない**

自宅が安全な場合は自宅待機 想定外に備え情報収集!余震や火災にも注意! 自宅に被害があったら避難所へ避難を避難所 ( )

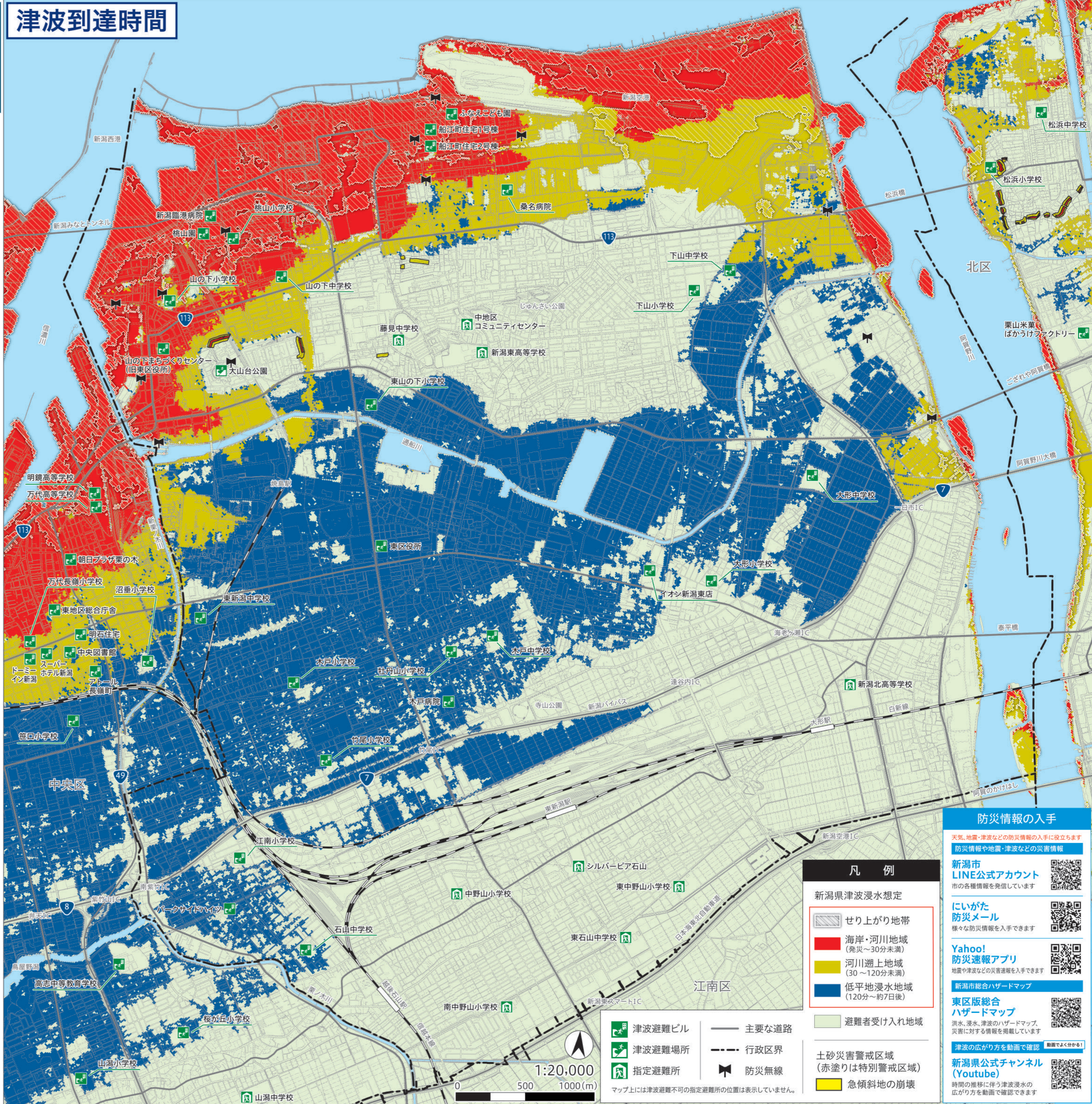
持ち出し袋を持って避難を! 持ち出し袋の中身 ( )

自分の身の安全を確保できている場合には、可能な限りで周りの人を支援しましょう 家族や近所で避難の支援が必要な人 氏名( ) 電話番号( ) 氏名( ) 電話番号( )

わが家の集合場所を決めておきましょう 連絡先リストを記入しておきましょう 第1集合場所 第2集合場所 氏名( ) 電話番号( )

災害時には災害用伝言ダイヤルで安否確認ができます(固定電話、携帯電話、公衆電話などから利用可) 録音は1 再生は2

## 津波到達時間



凡例 新潟県津波浸水想定 せり上がり地帯 海岸・河川地域(発災～30分未満) 河川遡上地域(30～120分未満) 低平地浸水地域(120分～約7日後) 避難者受け入れ地域 土砂災害警戒区域(赤塗りは特別警戒区域) 急傾斜地の崩壊

防災情報の入手 天気、地震・津波などの防災情報の入手に役立ちます 新潟市 LINE公式アカウント 市庁舎 防災メール 新潟市総合ハザードマップ 防災速報アプリ 新潟市総合ハザードマップ 東区版総合ハザードマップ 新潟県公式チャンネル(Youtube)